

費用対効果算出説明書

「岡部二反田」地すべり

(「地すべり対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」国道交通省 水管理・国土保全局 砂防部)

総括表

総便益B	[事業を実施しない場合の被害額]－[事業を実施した場合の被害額]	7,770百万円
総費用C	[建設費]＋[評価期間内に必要な維持管理費]	206百万円
B/C		37.72

総便益

[地すべり対策事業を実施しない場合の被害額]－[地すべり対策事業を実施した場合の被害額]
年平均被害軽減期待額を評価対象期間57年(整備期間7年＋耐用期間50年)について累計する。
ただし、年平均被害軽減期待額は算出基準年(平成28年)に基づくデフレーター及び社会的割引率
(年4.0%)で現在価値化したものとする。

$$\begin{aligned} \text{便益計} &= \sum \text{年平均被害軽減期待額} / (1+0.04)^n \\ &= 7,770 \text{百万円} \end{aligned}$$

※年平均被害軽減期待額: 地すべり防止区域内で毎年発生する補修費(地すべり直接被害区域内資産の1%)と、
地すべり発生の生起確率(1/50)を被害軽減額に乗じた合計。

※整備期間中の被害軽減額は、事業費に比例して発生するものとする。

総費用

[建設費]－[評価期間内に必要な維持管理費]
各年次の建設費と維持管理費(建設費の1%)を評価対象期間58年(整備期間7年＋耐用期間50年)
について累計する。
ただし、各年次の建設費及び維持管理費は算出基準年(平成28年)に基づくデフレーター及び
社会的割引率(年4.0%)で現在価値化したものとする。

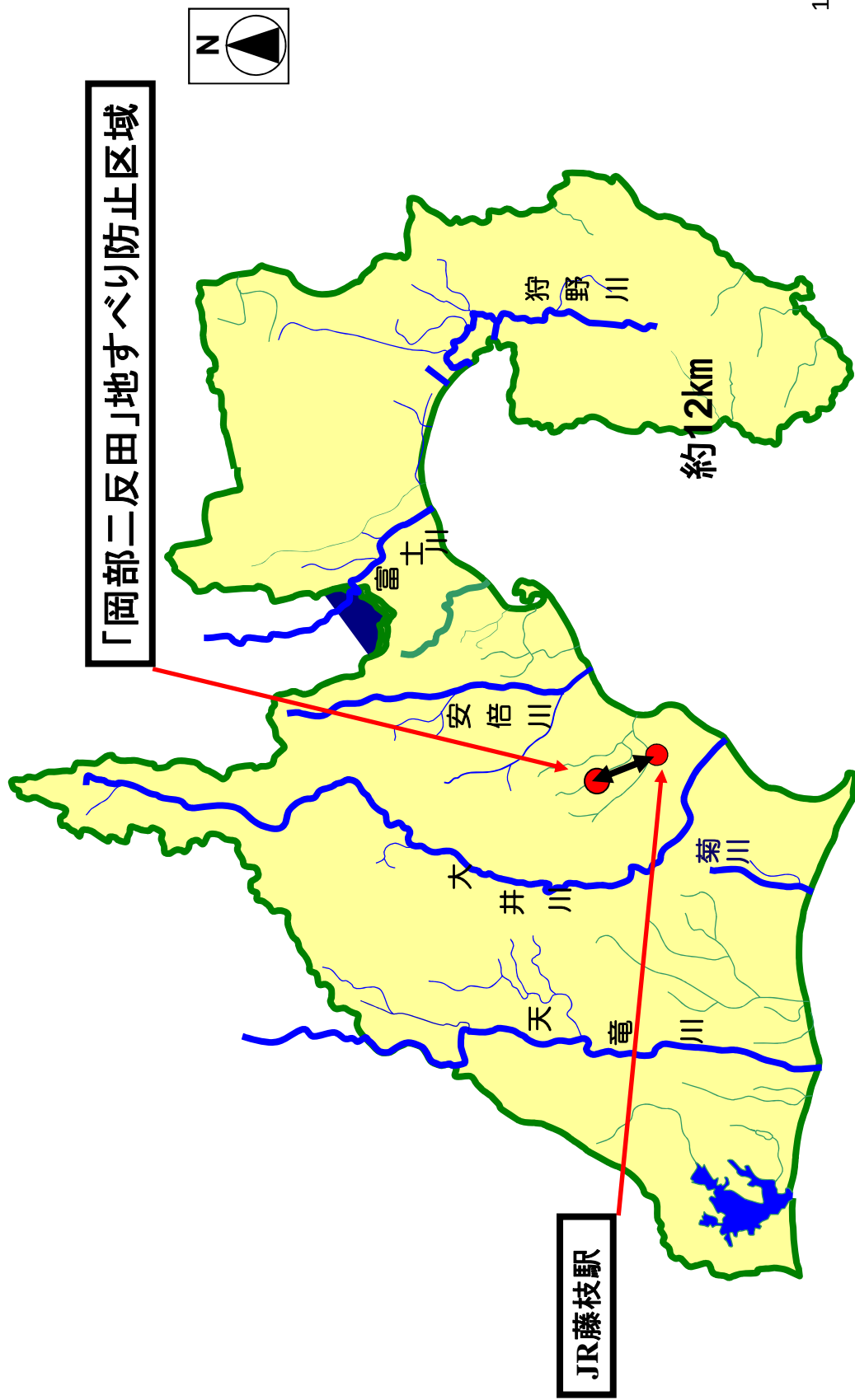
$$\begin{aligned} \text{費用計} &= \sum \text{年間建設費} / (1+0.04)^n + \sum \text{年間維持管理費} / (1+0.04)^n \\ &= 206 \text{百万円} \end{aligned}$$

※整備期間中の維持管理費は、投入済建設費に対して発生するものとする。

【対象箇所】

「岡部二反田」地すべり防止区域：藤枝市岡部町岡部

JR藤枝駅から北に約9km



事業概要】

(1) 事業目的

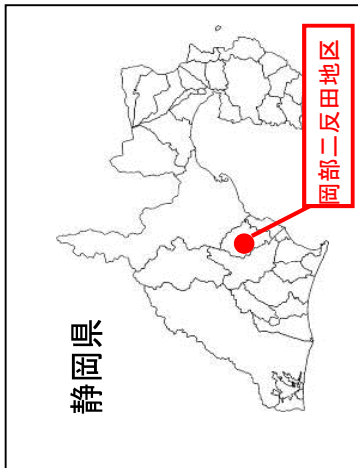
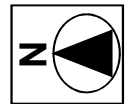
地すべり防止施設の整備を行うことにより、人家、河川及び道路等の公共施設について地すべりによる被害を低減し、住民の安心・安全な生活基盤の確保を図る。

地すべり被害保全対象

【人家・公共施設】
人家177戸(82戸)
(対策実施箇所)

【道路】
市道(岡部団地内)

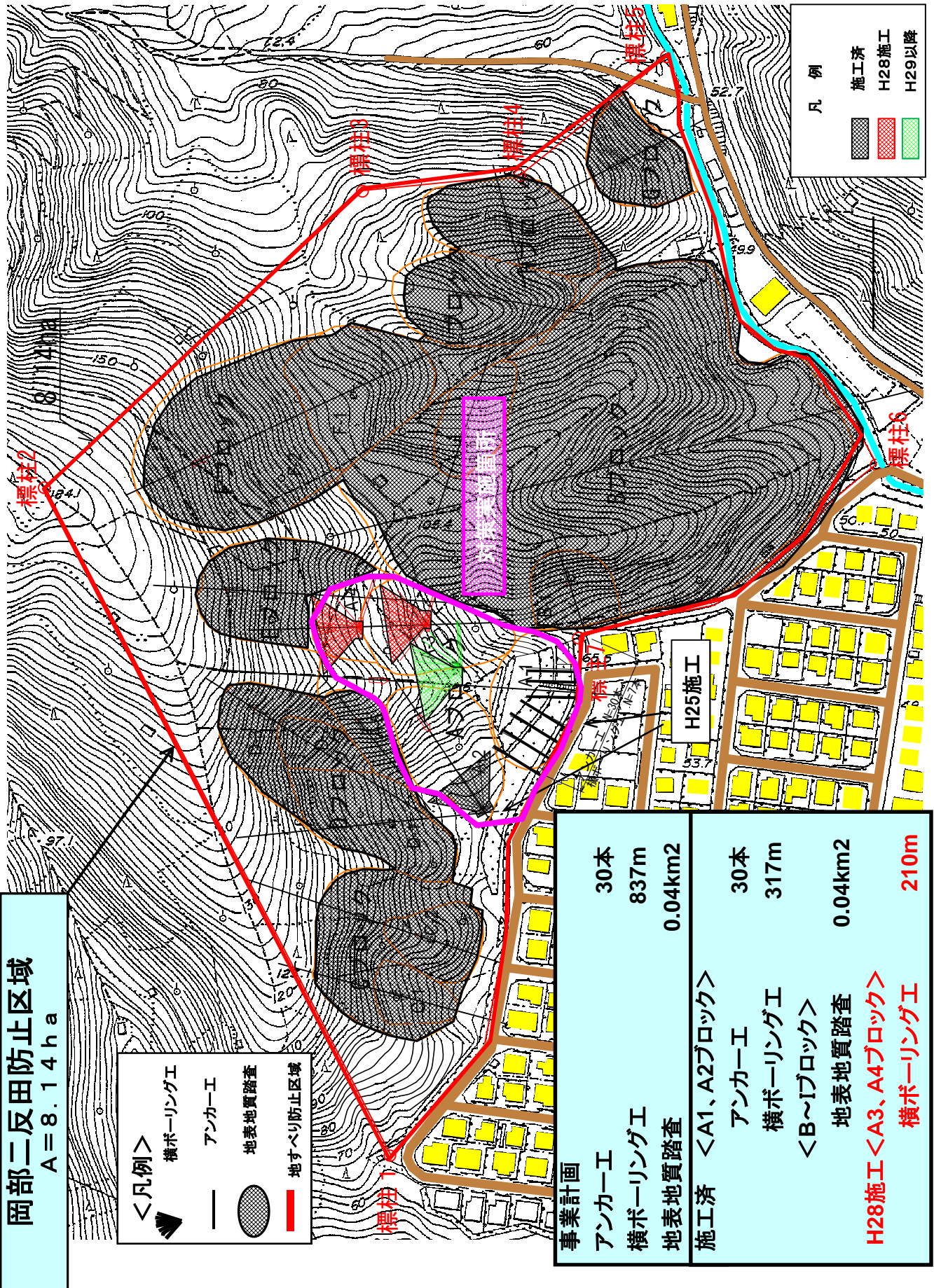
【河川】
準用河川板沢川



【事業概要】(2) 事業内容

岡部二反田防止区域

A=8.14ha



事業計画			
アンカー工	30本		
横ポーリング工	837m		
地表地質踏査	0.04km ²		
施工済 <A1、A2ブロック>			
アンカー工	30本		
横ポーリング工	317m		
<B~Iブロック>			
地表地質踏査	0.04km ²		
H28施工<A3、A4ブロック>			
横ポーリング工			210m